

報道関係各位

2002年12月2日

博報堂・大広・読売広告社、共同持ち株会社設置による経営統合へ
競合関係を維持する広告3社とメディア事業会社の4社で新グループを形成

株式会社 博報堂
株式会社 大広
株式会社 読売広告社

株式会社博報堂（社長：宮川智雄）、株式会社大広（社長：中尾英樹）、株式会社読売広告社（社長：小池克彦）の3社は、共同持ち株会社の設置による経営統合を行い、その傘下に既存3社および新規設立の媒体取引、コンテンツ開発などを行うメディア事業会社を置く基本構想に本日合意し、その為の具体的な検討を開始いたしますので、ここにお知らせいたします。

広告業界は景気低迷もあり、2002年度は前年を下回る推移となっております。一方、クライアントのニーズは高度化、多様化、複雑化しており、対応能力の向上も求められています。さらに、メディアにおいても次世代メディアの台頭、デジタル化の進展などにより多様化が進みつつあり、日本国内の広告業界の競争環境はより熾烈なものとなっております。

3社は昨年10月、次世代メディアに関する共同研究・共同開発、媒体コンテンツの共同研究・共同開発、広告枠販売業務での連携、以上3点からなるメディア業務での提携を開始し、順調な成果を上げて参りました。1年間の業務提携で相互の協力関係、信頼関係を育み、かつ環境認識を同じくし、今回の基本構想合意に至ったものです。持ち株会社設置による経営統合は、日本の広告業界では初めてとなります。この経営統合によって新しく誕生するグループは、売上で1兆円を超える規模（1）となり、日本では2位、世界では8位（2）の規模となります。新グループはクライアント、メディア各社の利益に貢献し、生活者のより良い生活に役立つ情報を提供して参ります。さらには株主、従業員にとっても価値ある広告グループとなることを目指して参ります。

1、02年3月期、3社単体売上合計1兆38億円

2、02年4月「Advertising Age」調べ 博報堂9位、大広16位、読売広告社22位の合計

(ポイント)

- 1、3社広告会社はこれまで通りの競合関係を維持しながら、かつ、お互いの独自性を尊重しつつ、今まで以上のサービスをクライアントに提供して参ります。
- 2、新たに設立するメディア事業会社は、スケールメリットを活かしながらクライアントに対するサービス力の向上を果しつつ、一方で媒体社への提案力の向上に努めます。
- 3、メディア事業会社の生産性の向上を図る事でグループとしての統合効果を進め、グループ企業価値の最大化を目指します。また、グループ全体で間接費用削減をはじめとするコスト効率の向上にも取り組んで参ります。
- 4、グループとして、3社広告会社とメディア事業会社の特色を最大限活かし、競争力の向上を目指します。
- 5、従業員に対し、多様性のある働き甲斐のある職場、それぞれの自己実現の場を提供いたします。

(統合の概要)

1、統合の流れ

3社は、2003年秋を目途に、共同持ち株会社を設置いたします。設置時に3社はすべて持ち株会社の100%子会社となります。また、その後速やかに、持ち株会社の100%子会社としてメディア事業会社を設立いたします。なお、持ち株会社は可能な限り早期の上場を目標として掲げます。

2、持ち株会社の名称・代表者・所在地等の基本事項

今後、3社協議の上決定致します。

3、株式の統合比率

持ち株会社設置にあたって発行する株式の交換比率については、外部機関の評価を踏まえ、3社協議の上決定致します。

4、メディア事業会社の名称・代表者、所在地等の基本事項

今後、3社協議の上決定致します。

(持ち株会社の機能)

持ち株会社はグループ企業価値の最大化へ向けたグループ本社として、スリムな規模で、中長期的な戦略の立案や経営資源の配分を行い、グループシナジーを追求していきます。

(統合推進の体制)

3 社は今回基本合意した経営統合構想を円滑・迅速に推進する為、合同組織として3 社会長・社長がメンバーとなる組織「統合準備会議」を設置致します。

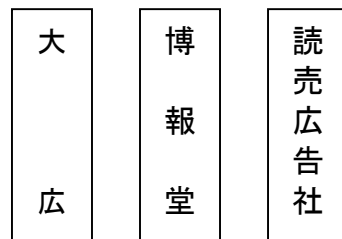
(詳細等の発表予定)

詳細にわたる統合計画を取締役会等の機関決議を経て、2003 年春を目途に発表する 予定です。

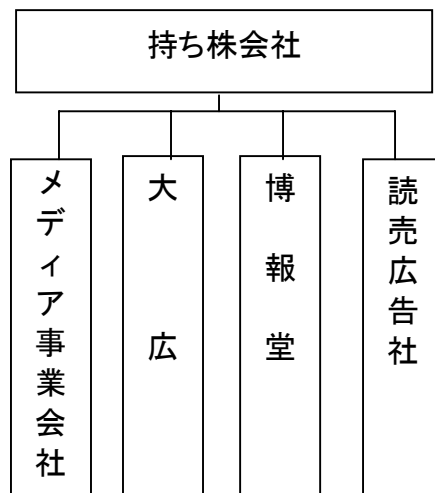
以上

統合のスキーム

(現状)



(統合後)



本件に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

株式会社博報堂	広報室	電話	03-5446-6161
株式会社大広	総務局広報部	電話	03-3437-8601
株式会社読売広告社	秘書・広報グループ	電話	03-3567-8111(代)